

繰り返し学習
1回転目

繰り返し学習
2回転目

繰り返し学習
3回転目

入門編

基礎編

短答・論文式試験 基礎力養成編

短答・論文式試験 応用力養成編

短答・論文式試験 実力完成編

INPUT

入門講義 (全2回)

弁理士試験全体の土台(基礎知識)作りを行うための予備知識や、学習を進めていくうえで知っておくべきポイントなどについて、解説します。

- ここがポイント
- ①試験範囲となる科目(法域)全体の概要を確認します
 - ②法律を初めて学ぶ人のための基礎用語、基礎知識をおさえます
 - ③講義の受け方や学習の進め方について、お教えします。
 - ④学習を進めるうえで使用する条文集など書籍について、いつ何が必要になるかも含め、お教えします。

INPUT

基本講義(全24回)

弁理士試験全般を通じて使うことのできる「基礎知識=土台」を学習します。

- ここがポイント
- ①オリジナルテキスト「エレメンツ1〜3」を使用
 - ②弁理士試験に必要な知識と必要でない知識を明確に分ける
 - ③毎回宿題(自宅課題)が出ます。
 - ④宿題(自宅課題)の内容は担当講師(=担任)がチェックして、一人一人の進度を確認します。

INPUT

短答逐条講義(全20回)

短答式試験に必要な知識を「条文」ごとに詳細に解説します。

- ここがポイント
- ①「条文の理解」に重きを置いた講義
 - ②短答式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

OUTPUT+解説講義

短答実力テスト(全7回)

短答式試験の基本的な問題演習+解法テクニックを習得します。

- ここがポイント
- ①短答式試験の基本的な問題を演習します。
 - ②短答式試験特有の解法テクニックも伝授します。

INPUT

論文基礎講義(全14回)

論文式試験に必要な知識のインプットと論文答案の書き方の基本をマスター

- ここがポイント
- ①論文答案の書き方の基本テクニックを伝授します。
 - ②論文式試験に必要な知識の広さ・深さをお教えします。

OUTPUT+解説講義

短答的中答練(全10回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

★短答的中答練の前半6回は法域別を実施します。

- ここがポイント
- ①厳選された本試験予想問題を「前半6回は法域別」「後半4回は全範囲」から出題します。
 - ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

★短答的中答練の後半4回は全範囲から出題します。

OUTPUT+解説講義

論文応用答練(全10回)

これまでに培った「知識」を活用して難度の高い「事例問題」に対する論文答案の作成スキルを習得します。

- ここがポイント
- ①「事例問題」に対する答案作成スキルをマスターすることができます。
 - ②基本的な「事例問題」の良問を解くことで、本試験レベルの問題に対する対応力を身につけることができます。

OUTPUT+解説講義

論文的中答練(全12回)

厳選された本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認して本試験までの学習計画を確定します。

- ここがポイント
- ①厳選された本試験予想問題を出題
 - ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

OUTPUT+解説講義

論文直前答練(全8回)

これまでの演習等で多くの受験生が弱点としている論点を中心に問題を出題します。

- ここがポイント
- ①多くの受験生が苦手としている分野・得点が伸び悩む分野を中心に問題を出題します。
 - ②詳細な解説資料と解説講義が付いています。

INPUT

短答ファイナルチェック (全2回)

本試験予想論点を総ざらいします。短時間で得点UPするための秘訣満載です。

- ここがポイント
- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
 - ②短時間で集中的に頭に詰め込む必要のある「暗記ポイント」も絞り込んで紹介します。
 - ③試験直前期のトピックも交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

短答式全国公開模試 (全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

- ここがポイント
- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中率の模倣試験となります。⇒的中率の情報はP23をご確認ください。

★実施予定★
2016年3月(予定):第1回
2016年4月(予定):第2,3回

INPUT

論文ファイナルチェック(全3回)

本試験予想論点を総ざらいします。短時間で得点UPするための秘訣満載です。

- ここがポイント
- ①本試験出題予想論点を短時間で確認
 - ②試験直前期のトピックや直前に実施された短答式試験の情報も交えた最新情報をお伝えします。

OUTPUT+解説講義

論文式全国公開模試(全3回)

本試験と同様の時間帯・形式で実施する模擬試験です。

- ここがポイント
- ①本試験実施時間と同様の時間帯で実施
 - ②本試験実施形式と同様の形式で実施
 - ③毎年本試験の論点的中率の模倣試験となります。⇒的中率の情報はP12〜13をご確認ください。
- ★実施予定
2016年4月(予定):第1回
2016年6月(予定):第2回・3回